

高梁市議会 第30号 2017年5月 だより

【特集】 予算審議！



- 特集** 平成29年度予算審議 ②
3月定例会のあらまし ⑥
全員協議会開催 ⑨
一般質問 ここが聞きたい ⑩



予算審議

3月議会では、「平成28年度高梁市一般会計補正予算（第5号）」、各特別会計補正予算、また、新年度の「平成29年度高梁市一般会計予算」や各特別会計予算など、予算に関する審議が行われました。

3月議会では、「平成28年度高梁市一般会計補正予算（第5号）」、各特別会計補正予算、また、新年度の「平成29年度高梁市一般会計予算」や各特別会計予算など、予算に関する審議が行われました。議会では議案は最初に全体で議案質疑を行った後、3つの常任委員会に分け、それぞれ担当する議案をより細かく審査します。

この特集では、新年度予算について、議案質疑や委員会での質疑の中から、特に市民に関連のある事業や、新規の事業などに関わる審議を紹介します。



移住サポート 業務委託料

予算額：780万円

地域おこし協力隊OBや実業家等により構成されている「一般社団法人梁クラス」に移住サポートサービス事業を委託する。この法人は、地域と世代をつなぎ地域活性化やまちづくり地域づくりに寄与することを目的として、平成28年に設立されたものである、との説明がありました。



行政経営アドバイザー 委託料

予算額：207万2千円

平成28年度から委託しており、経営という観点からアドバイスをお願いしている。通常月1回程度であるが、月2〜3回来ることもある。総合戦略、総合計画の進捗管理、予算決算システムの仕組みづくり、タウンミーティングのファシリテーターなどをお願いしているとの説明がありました。



滞在体験型観光まちづくり 推進業務委託料

予算額：300万円

運営主体が決まっているのかという質問に対して、4月中旬に会社を設立することでまとまっている。地域資源を活用しての地域おこしで、アドバイザーに経営支援もしてもらい、着実に進んでいる。また、先進地にも足を運んで状況を確かめているとの答弁がありました。



吹屋町並み 保存整備費補助金

予算額：4321万4千円

吹屋伝建地区の家屋修繕に充てられるもので、財源は国庫補助金が65%、県補助金が175万円、持ち主が10%、残りを市が負担する。平成29年度は4棟計画しており、地元町並み保存会と協議して決定している。事業費の増額要望と事業の加速化を進めている、との説明がありました。

❓ 一般会計とは？

行政が市民サービスを行なうための、基本的な経費を中心とした会計。

平成29年度高梁市一般会計予算では、歳出予算の科目として、大きく区分すると、議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費、予備費がある。

❓ 特別会計とは？

特定の事業を行う場合や特定の歳入を特定の歳出に充てるため、一般会計とは別に独立した経費管理が行われている会計。

平成29年度高梁市では

- ・高梁市国民健康保険特別会計
 - ・高梁市国民健康保険成羽病院事業会計
 - ・高梁市後期高齢者医療特別会計
 - ・高梁市畑地かんがい事業特別会計
 - ・高梁市水道事業特別会計
 - ・高梁市下水道事業特別会計
- など、16の特別会計がある。

アニメスタジオ 整備運営補助金

予算額…4940万円

運営計画などはあるのかという質問に対し、平成28年度から平成30年度までの3カ年の交付金で、平成29年度に会社設立する予定である。吉備国際大学のアニメーション文化学部や市内企業の協力もいただき、栄町の空き店舗を利用する予定である。

また、内訳については、空き店舗改修費1100万円、維持管理費約500万円、これにスタッフの給与を合わせて4940万円であるとの答弁がありました。

旧成羽高等学校 グラウンドの購入

予算額…8259万5千円

1万542平方メートルのうち、県が地元からの寄付により取得していた部分については無償で譲り受け、それ以外の部分は有償で購入するとの説明がありました。

就学前教育 アドバイザー報酬

予算額…243万7千円

アドバイザーの仕事内容に関する質問に対し、平成28年度はこども未来課に在籍していたが、今後就学前教育は学校教育課で担当し、幼稚園、こども園等の施設を回って指導や助言を行い、幼児教育の充実を図るとの答弁がありました。

有害鳥獣駆除関連事業

予算額…5979万9千円

鳥獣被害防止対策の事業内容はその質問に対し、鳥獣被害防止対策推進員を1名雇用し、捕獲、保護などを行う。防除の指導を行いながら被害の現場にいち早く行って確認することを考えている。実施隊については新たに結成するとの答弁がありました。

国際交流員報酬

予算額…352万円

平成28年8月から1名がフランスから来て活動しており、平成29年度もお願いする。印刷物や看板の翻訳、市民との交流イベント、フランスの料理や文化の発信、高梁の文化をフランスに発信するなどの活動をしている、との説明がありました。

土木費全般について

予算額…18億6513万円

平成29年度予算で前年度に比べ8億8000万円の減額になった原因に関する質問に対して、主に地域再生計画に基づく道整備交付金事業が終了したことで、平成29年度から新規の地域再生計画をたて、平成30年度から実施する予定だという答弁がありました。



成羽町 餅つきdeフェスタの様子

障害者外出ガイド ヘルプ事業委託料

予算額…400万円

平成28年度までの障害者移動支援事業と比べて大幅な減額となった理由に関する質問に対して、事業内容は変わらないが、平成28年度に要綱改正をされており、実績を基に平成29年度予算を計上しているとの答弁がありました。



地域おこし協力隊 運営事業

予算額…2905万1千円

協力隊員は総数5人で、3人は各地域に割りふられており、2人は新規起業を目指す起業型であること、平成29年度はまちづくり協議会の希望を聞きながら、合計6人ないし7人着任の予定であるとの説明がありました。



障害児通所等給付費

予算額…1億4200万円

前年度比6200万円増の1億4200万円となった点についての質問に対して、障害児の発達支援、放課後デイサービス、保育所等の訪問支援の予算で、発達支援事業に取り組む事業所がふえたため増額となったとの答弁がありました。



ヒルクライム チャレンジシリーズ

予算額…440万円

平成29年度で7回目となり、9月30日と10月1日に開催予定である。平成28年度は1000人を超えるエントリーがあった。平成29年度は440万円を実行委員会に補助金として出す予定であるとの説明がありました。



中山間地域等 直接支払交付金

予算額…1億8328万4千円

制度の継続について国にどう働きかけているのかという質問に対して、中山間地域等直接支払い制度については、現状で135地域が協定を結び1015ヘクタールに及んでいる。耕作放棄地対策として重要な施策であるので、国の動向を見ながら引き続き要望していくとの説明がありました。



吉岡銅山関連遺跡調査 委員会委員報酬

予算額…23万4千円

世界遺産に向けて団体が取り組んでいるが、今後どのように取り組むのかという質問に対して、市としては一足飛びにそこまでできるとは考えていない。まずは国の史跡指定に向けて調査したいとの答弁がありました。



神原スポーツ公園 施設改修工事費

予算額…2億5290万円

クラブハウス建築費2億1290万円、駐車場整備費3000万円、倉庫建築費1000万円と見込んでいる。平成27年度に設計、平成28年度から天然芝の張り替え、散水施設、観客席の整備を進めている。平成29年度はクラブハウス整備がメインの工事となるとの説明がありました。



神原スポーツ公園改修工事の様子



マイクロバス 運行委託料

予算額…1000万円

市所有のマイクロバスは公務での使用、または、市が輸送する必要があるものについて委託しており、運行実績に基づき支払をしているとの説明がありました。

高梁市図書館の 駐車場について

駐車場警備委託料：280万8千円
土地借上料：337万円

図書館に関わるものであり、市が負担しなければならぬのかという質問に対して、警備委託料は図書館駐車場の警備の委託料である。土地借上料はN.T.Tの土地の借り上げ料である。駐車場は市所有であるので市で運営整備する。警備員を配置するのはオープン当初、平成29年度は学校の春季休業期間とゴールデンウィーク時期である。なお、臨時駐車場については本年3月まで無償で使わせていただいているとの答弁がありました。



2月4日にオープンした高梁市図書館

高梁市介護保険 特別会計予算

予算額：48億6550万6千円

平成29年度から実施される介護予防・日常生活支援総合事業の予算はどうなっているかとの質問に対して、介護予防・生活サービス事業費4126万8000円と一般介護予防事業費1184万円が計上されている。ボランティア活動に対するポイント付与については総合事業の中、一般介護予防事業として地域の集いの場や個人の介護予防のために行うもので、地域で体操を広めていただくサポーターの活動にポイントを付与する。市内14の地区社協を母体とした協議会で取り組む予定であるとの答弁がありました。

高梁市国民健康保険特別会計予算

予算額：46億5875万1千円

一般会計から事業勘定への基準外繰入額が、平成28年度は3000万円、平成29年度は6000万円となっている点についての質問に対して、国保会計は医療給付に見合った負担が必要であるが、激変緩和をするための財源も無く、やむなく一般会計から繰り入れたとの答弁がありました。また、事業勘定から直診勘定へ繰入金が見込まれているが、事業勘定は一般会計から基準外繰り入れをしなければならないのに、な

ぜこの会計から直診勘定に繰り入れをするのか、診療所改修のためなら基金を使うべきではないかとの質問がありました。これについては、一般会計から事業勘定への繰り入れは保険料の激変緩和のために繰り入れている。事業勘定から直診勘定に繰り入れているのは、へき地直営診療施設運営費補助分として直診勘定に繰り入れるために国から交付された特定財源であり問題は無いとの答弁がありました。

高梁市国民健康保険成羽病院事業会計予算

予算額：16億5887万6千円

入院患者減少についてはどう考えているのかとの質問に対して、平成29年度収益的収支は6780万円程度の赤字を見込んでおり、今後、4階の病床の転換が課題となる。病院ネットワーク

化の特別損失1500万円や電子カルテの減価償却費は収入に見合うほどになっておらず、平成29年度は前年度に対し全体としてスケールダウンしているとの答弁がありました。

県下初の手話言語条例を制定

3月2日から21日まで、平成29年第1回高梁市議会定例会が開催されました。今定例会では、市長提出の議案52件のうち、1件を承認、51件を可決しました。また、追加議案3件が提出され、2件を同意し、1件を適任と決しました。さらに、議員発議の議案1件を可決しました。なお、市民団体などから議会に寄せられた請願2件、陳情2件については、いずれも不採択と決しました。

今回の定例会では、県下で初の条例となった「高梁市手話言語条例」については、「内容について異論は無いが、このようなことは条例で決めるべきではなくモラルではないか」との質問について、「手話に関しての理解がまだ進んでいないので全国市長会でも取り上げられ、障害者差別解消法も成立している。手話が言語として普及するために具体的推進方針を決めて取り組む内容となっている」との答弁がありました。

また、開館したばかりの高梁市図書館について委員会でも質疑が行われました。「人件費をどこまで負担するのか」という質問に対しては、「CCCの提案では総勢35名で人件費は8500万円必要であるとされている。現在25〜26名程度採用しているが、それ以外は他の図書館から来た従業員で、正社員なので単価が高い。現在アルバイト、契約社員の募集もかけており、最終的には提案内容に近い金額にする」という答弁がありました。また、図書館の管理費についての質問に対しては「光熱水費、エレベーターなどの管理費が想定を上回っている部分があるが、最終的には上限内に収めたい。夏場の光熱水費が増えていくことが予想されるのでCCCと協議する」との答弁がありました。

図書館の運営については「当初、市内の人や物を使うことであつたが、現実はそのようになっていないのではないか」という質問に対して、「あくまで職員は地元採用、発注は地元発注としているが、一定の能力がないと業務遂行できないこともあるので全ては市内になつていない」。また、「複合施設管理業務の発注者として、CCCに対して地元事業者を活用しているかどうかを確認すべきではないのか。市外業者を使っている業務が見受けられるので、十分管理指導をすべきではないか」という質問に対しては、「できるだけ本市の意向に沿っていた方がいいようにする。確認はするが強制までは出来ない」との答弁がありました。

3月定例会で賛否が分かれた議案等の議決結果

○賛成 ●反対

件名	森	平松	伊藤	森上	石部	三村	石井	黒川	石田	内田	宮田好	小林	倉野	川上修	川上博	宮田公	大月
平成29年度高梁市一般会計予算	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度高梁市国民健康保険特別会計予算	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本政府に「核兵器禁止条約の交渉会議参加と、条約実現に努力することを求める」意見書採択を求める請願	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願書	●	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
年金の毎月支給を求める陳情	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書提出に関する陳情書	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

◎他の議案は全会一致で可決しました。

◎議長は裁決に加わりません。

※CCC…カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

総務文教委員会

平成29年度高梁市一般会計予算

Q…順正学園に対して広報費補助金として5000万円が計上されてるが、どのような広報を行ってきたのか。

A…パンフレット、コマージュ、オープンキャンパスなどで1億8000万円程度かかるうち、3分の1程度を助成している。年間25億円程度の経済効果があると推計されている。

高梁市有漢社会教育センター
条例を廃止する条例

Q…敷地内の道路は今後も使えるのか。

A…敷地内道路については用途廃止後も現状の使用を維持する。

Q…施設の譲渡先はどこか。

A…備中そばりえの会で、これまでも有漢社会教育センターを活用されている。

産業経済委員会

高梁市営地域優良賃貸住宅条例の一部を改正する条例

Q…家賃が高いのではないのか。

A…算定方法はこれまでの地域優良賃貸住宅と同様で、固定資産税評価額などを基準に算定している。活用状況は、木野山、星ヶ丘、八長、近隣の住宅は全戸活用されている。

Q…入所者と一緒に設計するようないかなり方はできないのか。

A…国庫補助を活用しているの
で、補助条件をクリアしなければならず、要望を取り入れにくい。



川上町地頭地内に建設中の地域優良賃貸住宅

市民生活委員会

平成28年度高梁市一般会計補正予算（第5号）

Q…看護師養成奨学金予算が200万円減額されているのはなぜか。

A…平成28年度当初は6名を見込んでいたが、1名の申し込みだった。平成29年度からは告知のために市内の中学、高等学校にパンフレットを配布することになっている。

高梁市たかはし障害者総合相談センター条例

Q…相談センターを1カ所に集約することで、相談業務を受託した各事業所は人員を割かなければならなくなるのでは。

A…これまで相談業務を各事業所で行っていたが、これを集約する。障害がある

人の利便性が高まると考えている。事業所との協議を進めており、障害のある人のために必要なこととして合意に至った。

Q…障害がある人にとっては住

まいに近いところで相談できるほうがいいのではないのか。センターでしか相談できないとなると、移動などで不便な面が出てくるのではないのか。

A…今後も各事業所で相談受付をするなど柔軟に運用し、利便性に配慮する。

高梁市保育士養成奨学金貸付
条例

Q…交付決定はどのように行うのか。正職員以外は返還免除が受けられないのか。

A…交付決定は申請書に基づき、市役所内部で決定する。返還免除を受けるための雇用形態としては、臨時職員も該当する。

Q…保育士の待遇改善と将来的な人員確保のために奨学金制度に予算措置を行うこととのバランスはどのようにとるのか。

A…現状で保育士は過酷な勤務だと認識している。保育の質を上げるため、また、人的余裕を持たせるためにも人材確保をしたい。

賛成討論

平成29年度一般会計予算では、養護老人ホームの構造的な問題により、一般会計から特別会計への繰り出しがある。市長答弁の通り、行財政改革の観点から、特別会計の見直しやサービス自体の考え方について精査していく必要があると考える。次に、防災ラジオに関する予算措置については、市民負担について執行部の方針転換があり、今後予算措置の変更も必要ということである。本来当初予算は政策方針の確定による予算計数化であり、それが提案直後に変更されたということは、意思決定において十分な議論がなされたのかという疑問を生じさせかねない。この点については本予算にとどまらず、今後十分留意いただきたい。

(宮田公人議員)

平成29年度一般会計予算には、学園文化都市づくり事業としてアニメスタジオ整備運営補助金が含まれている。こんな田舎にアニメスタジオを作ってしまうのかと疑問に思う方も多いであろうが、昨年には総社市や井原市にアニメスタジオが設立され、現地採用も行われた。商業地や居住地に近い小規模事務所での働き方は、まさに多様性を生み出す。高梁市の新しい可能性として、育てていくって欲しいと思う。また、国民健康保険について、制度を守るためにも、市民の健康意識を高め、予防医療の観点から医療費削減に取り組むことが急務と思う。執行部は今後一層の啓発活動に努め、健康意識の増進に努めていただきたい。

(石井聡美議員)

反対討論

平成29年度高梁市一般会計予算には新図書館を含む複合施設を民間業者のCCCを指定管理者とする約1億6000万円の指定管理料が含まれている。新図書館は、一定の評価はされるべきかもしれないが、教育施設は直営で行なうべきであるとの観点から直営への転換を求め、この指定管理料には反対する。また、CCCが本の貸し出しについてTポイントを付与している点からも反対する。

また、順正学園吉備国際大学に対する広報費補助金が毎年計上されている。市の限られた財政の中で、毎年度優先的に予算計上され税金を投入することは、市民生活予算とのバランスや、また大学の経営状況から見ても偏重した支出と考え反対する。また、マイナンバー関係の予算について、マイナンバー制度は、個

人情報の流出や犯罪等の危険性を招く恐れもあり、管理や扱い上の問題が現在でも出ている制度であり反対する。

高梁市国民健康保険特別会計予算については、そもそも国民健康保険は低所得者の方が多く加入されている制度である。今回の予算では一般会計から6000万円の法定外繰り入れが行なわれることになったが、加入者は1割もの負担増になる。今でも大変なことなのに、これ以上の負担増は病気になっても病院にかかれないうなど、受診抑制となり重症化につながる心配や、払いたくても払えない層が増大し、制度そのものが破綻へと進んでいく可能性があり、反対する。

(石部 誠議員)

町内会支援制度 高梁市養護老人ホーム・成羽認定こども園

1月27日に開催された全員協議会では、平成29年度から始まる「町内会支援制度」と、旧成羽高校跡地に建設する「高梁市養護老人ホーム・成羽認定こども園」について、質疑が交わされました。

質疑の中では、執行部から、高梁市では20世帯を1つの町内会とするのが基準になっているが、実情に合わなくなっているため、今回の支援制度と合わせて見直しを図ってほしいと、今回の制度設立の経緯が説明されました。

「市街地と周辺地域では、同じ町内会という名でも形態が違う。その辺りへも目を入れて支援を考えて欲しい」という意見に対しては、「制度を検討するにあたり、関係課で検討会議を行って、困りごとの洗い出しを行った。いろ

いろなメニューを各町内会に合う形で選んでほしい」という回答がありました。

高梁市養護老人ホーム・成羽認定こども園については、駐車場の台数は約70台。感染症対策については、1階と2階の出入りは常時規制をし、動線なども整理していく、という説明を受けました。建設費が当初の18億円から22億5千万円になったことについては、建設資材や人件費の高騰が原因だとのことでした。

また、2月20日に開催された全員協議会では、防災ラジオ、高梁公共施設等総合管理計画(案)の概要、今後の行財政改革の取り組みについて、説明がありました。

防災ラジオ等について 所管事務調査を実施

2月20日と28日の両日に、「防災ラジオの整備について」等を議題に、総務文教委員会を開催し、所管事務調査を実施しました。

担当課からの説明では、防災情報はケーブルテレビを基幹に、防災メールや防災ラジオで補完、整備していく。防災ラジオについては、防災行政無線と同様に、定時放送やお悔み、地域単位の行事やニュースなどの放送の受信も可能である。機器は無償貸与するが、登録料が必要(2月28日現在)である。防災行政無線の屋外放送塔は有用と認めるが、全

市のなサービスは多額の経費がかかるため廃止すると

いうことでした。

これに対して委員からは、「防災行政無線に頼っている方もおり、基幹であるケーブルテレビは全戸に普及しているわけではない。また、屋外放送設備も残してほしい。」「防災ラジオは無償貸与で登録料は必要としているが、この登録料も無料にするべきである。」など意見が出されました。



一般質問とは

議員は、年4回開かれる定例会で、市の行政全般について質問する権限を持っています。

質問では、疑問点を質すことと自己の意見を述べることが出来ます。

高梁市議会では、議員の質問時間を40分以内(執行部の答弁は除く)とし、一項目ごとに質問、答弁を行う「一問一答式」で行なわれています。

質問は、市の一般事務であれば、なんでも聞くことが出来ますが、事前に質問内容を、一般質問通告書として議長に提出する必要があります。

質問によく似た言葉に質疑がありますが、質疑は議題となった議案について疑問点を聞くことであり、質問のように意見を述べることは出来ません。

このように、議会では一定のルールに基づいて運用されています。

第29号の記事の訂正について

議会日より2017年2月号(第29号)5ページの全員協議会に関する記事の中で、成羽複合施設(仮称)に集約される主な施設の一つとして『成羽文化センター(昭和41年建設)』と記載しました。他方、議会の基本的な考え方』の中では『成羽公民館』と記載されており、両者の整合性についてご指摘をいただきました。現在、成羽文化センターの敷地内には成羽文化センターの①本館②別館③ホールの3つの建物があり、『成羽文化センター(昭和41年建設)』も『成羽公民館』も成羽文化センターの本館のことです。紛らわしい表現となったことをお詫びします。

Q. 国は民間委託や指定管理者制度へ移行させようとしているが

A. 市の行財政改革の中で検討する

「トップランナー方式について

宮田 トップランナー方式とは、交付税算定対象の23業務について、民間委託や指定管理者制度の導入などが進んだ状況を基準財政需要額の単位費用に反映させるものである。

平成28年度から16業務が対象になっているが、本市にとってどのような影響があるのか。

市長 16業務のうち12業務は平成28年度から段階的に単位費用の見直しが行われていて、その影響額は、約1900万円と理解している。

宮田 この方式は、自治体業務を民間委託等へ移行させ、



宮田 好夫

ここを聞きました

- 来年度予算の収入について
- 防災ラジオについて
- 鳥獣対策について
- いきいき高齢者外出支援事業(バス・タクシー券)について

人件費などの削減を求めているが、市の考え方はどうか。

市長 項目に上げられたものについて、どのような形に持っていくかというのは、行財政改革の中で検討すべき事項と考えていて、委託にするのか、市の業務として維持していくのかといったことを判断せざるを得ないと考える。

新年度からの行財政改革の中で、高梁市としてのあり方というものを立てた上で進めて行きたい。

トップランナー方式の主な対象業務	
本庁舎の清掃	
本庁舎の夜間警備	
案内・受付	
電話交換	
公用車運転	
民間委託	
し尿収集	
一般ごみ収集	
学校給食(調理)	
学校給食(運搬)	
学校用務員事務	
道路維持補修・清掃等	
情報処理・庁内システム維持	
指定管理	
体育館	
競技場	
プール	
大規模公園	
2017年度以降の検討業務	
図書館	
博物館	
公民館・市民会館	
児童館・児童遊園管理	

石井 糖尿病予防のために、市で生活週間の積み重ねが結果に現れているのではないかと懸念しています。運動や食生活の傾向が、脂質の摂取率が高いという傾向がある。野菜など副食が不足しがち、満腹まで食べる傾向があり、野菜など副食が不足しがち、脂質の摂取率が高いという傾向がある。運動や食生活週間の積み重ねが結果に現れているのではないかと懸念しています。

政策監 高梁市では、男女ともにどの年代にも運動習慣のない人が多く、男性では栄養バランスを考えた食事をする人が低い。満腹まで食べる傾向があり、野菜など副食が不足しがち、脂質の摂取率が高いという傾向がある。運動や食生活週間の積み重ねが結果に現れているのではないかと懸念しています。

石井 血液検査での生活習慣病を表す数値も悪い。
政策監 高梁市では、男女ともにどの年代にも運動習慣のない人が多く、男性では栄養バランスを考えた食事をする人が低い。満腹まで食べる傾向があり、野菜など副食が不足しがち、脂質の摂取率が高いという傾向がある。運動や食生活週間の積み重ねが結果に現れているのではないかと懸念しています。

石井 様々な施策があるが、これだけ悪い数値が出ている以上、まだまだ浸透しているとは言えない。市内の企業や学校などを巻き込んだ、全市を上げての活動を行うべきではないか。
政策監 基本的には個人がどう気をつけて食事を選んでいくかが重要なので、まずはそこを気を付けて改善に取り組んでいきたい。

Q. 高梁市で人工透析が多い理由は？
A. 特定健診の受診率が低く重症化しやすい



ここを聞きました

石井 聡美

- 生活習慣病予防について
- 教育現場へのICT機器導入について
- インバウンド観光について
- 高梁市公共施設等総合管理計画(案)の概要について

はどんな活動をしているのか。
政策監 料理教室や食生活講習会を年に130回程度行っている。市内に128人の栄養委員があり、地域で啓発活動をしている。運動に関しては、年間90回程度各地で健康に関する講話や指導を行っている。今年度から、運動習慣のない働き盛りを対象に「高梁健康スポーツ講座」を開催した。

Q. 川上診療所の取り組みをどう評価しているか
A. 地域包括ケアの先駆的な事例として評価している

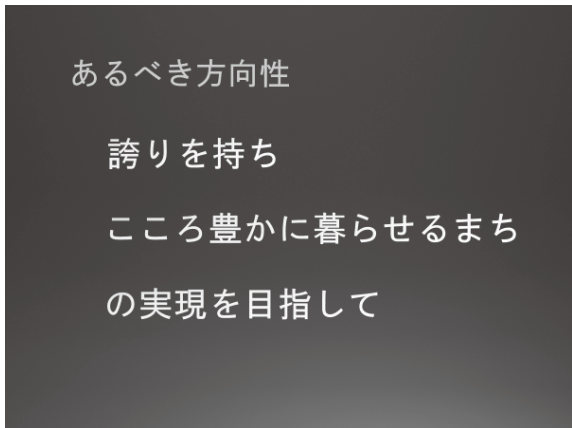


ここを聞きました

宮田 公人

- 行財政改革における一般会計からの繰り出し金と組織のあり方について
- 成羽病院の改革プランと病床転換のあり方について
- 川上診療所を基軸とした地域包括ケアのあり方について
- Uターンを促す「ふるさと回帰奨学金制度」の創設について

宮田 川上診療所では菅原英次所長のもと、積極的な往診や訪問看護により地域包括ケアに取り組んでいる。この取り組みは「川上方式」と名づけられ、医学生・医学生・医学生である「医療経済学・地域医療学」にも掲載されている。
こうした川上診療所の取り組みをどのように評価し、高梁市の地域医療に生かしていくのか。
政策監 20年も前から地域包括ケアに取り組まれている先駆的な事例として評価している。
今後の高梁地域の医療政策の推進についても菅原先生の意見を拝聴していきたい。



菅原先生の講演で使われたスライドの一部（抜粋）

- Q.** 町内会支援制度について、人的支援が重要なのではないかと
- A.** 町内会で解決できない課題は、個々に対応していきたい



内田 大治

ここを聞きました

- 「人・農地プラン」の取り組みについて
- 町内会支援制度について

「人・農地プラン」の取り組みについて

内田 農業者の高齢化、担い手不足により耕作放棄地は増大している。この現状を解決するため、「人・農地プラン」の取り組みを進めてきた本市の現状は。

産業経済部長 平成28年までに17組織、参加人数は449名、中心経営体人数は210名で取り組みをしている。

内田 このプランに取り組むことにより、農地の集積・集約また耕作放棄地の解消等、本来の目的である事業効果について、市はどのように認識しているのか。

産業経済部長 取り組みを後押しするための5項目の支援事業について、それぞれ効果が出ている。

引き続き市は指導、支援をして

いきたい。

町内会支援制度について

内田 高齢化と人口減少、世帯減少により、周辺地域では地域コミュニティを維持することが困難になってきている。この現状を解決するため補助金による町内会支援策を作成したが、本当に必要なのは、制度的、人的支援が重要なのではないかと。

市長 まずは各町内会で課題を洗い出してほしい。そのための会合に奨励金を支給する。町内会で解決できない課題に対しては、もう少し広いコミュニティで考えたり、支援組織を紹介したりして個々に対応していきたい。

- Q.** 国保税の負担減はできないのか
- A.** 法定外繰り入れを6000万円投入した



石部 誠

ここを聞きました

- 米軍の日本原演習場単独訓練に反対の表明を求める
- 立地適正化計画と町内会支援について
- 国保税の引き上げについて
- 高梁市図書館について
- 西山高原キャンプ場について

立地適正化計画について

石部 計画では医療や福祉や商業施設などを一定地域に集積するとある。

これは地域の努力や地方自治体の果たす役割を後ろに追いやり、過疎、高齢化を促進し、地域の機能が失われるのではないかと。

市長 根拠を示さずに周辺部で影響が大きいというのを空案で言われるのは、非常に不愉快だ。

計画として都市機能の誘導をおこない、居住はこちらへ来てくださいと定め、周辺部には対策をおこなうとしている。

国保税の引き上げについて

石部 平成29年度の国保税引き上げはどの程度で、市民負担増はやむを得ないのか。

健康福祉部長 平成28年度の赤字を被保険者で割った場合、一人当たりの負担増は2万円程度になってしまったため、国保は被保険者の相互扶助制度であるが、激減緩和として一般財源から6000万円の投入をした。

高梁市図書館について

石部 過去の議会で、図書貸し出しにはTポイントを採用しないとされていたが間違いないか。

教育次長 その通りです。

石部 議会で「採用しない」としたことが行われたが問題ではないか。

教育次長 その後議会でTポイントを付与すると説明してきた。

石部 本の貸し出しに付与することは言っていない、再確認を。

教育次長 そこまで確認はできておりません。

Q. 分娩施設がなぜできないのか
A. 出生率を上げていくために分娩施設は必要であると認識しているが、現時点では施設開設は難しい



ここを聞きました

- 新図書館について
- 認定こども園について
- 学童保育利用者（子育て世代）の声について
- 市内に残る近代化遺産について
- お産について
- 駅前整備について
- 新設される鳥獣害対策の専門部署について

■新図書館について

森 図書館西側に臨時の駐車場を設けて対応しているが、警備員の費用は指定管理料から支払われているのか。

教育次長 3月末までは臨時駐車場を考えている。警備員は市が直接お願いしている。

森 図書館4階のオープンスペース道路側のガラス壁の高さが低いが、安全面に問題はないのか。

政策監 建築基準法の規定は満たしているが、市民からも同じ声が寄せられている。安心安全の観点から対策工事を発注している。

■駅前整備について

森 備中高梁駅に続いて、備中広瀬、木野山、備中川面、方谷の各

駅でも駅及び駅前整備は行われるのか。

市長 立地適正化計画と並行して、駅及び駅前整備など全体構想を策定し、その上でJRとの協議をしていきたい。

■市内に残る近代化遺産について

森 芳賀芙蓉軒（大工町）吉岡銅山（坂本地区）、2つの遺構の保存整備が急務であると考えているが、考えを聞きたい。

市長 2つの遺構とも歴史的風致維持向上計画エリアに属している。芳賀芙蓉軒は、どう活用するのかが大きなポイントである。吉岡銅山は新年度予算を組み、市民の皆様を巻き込んで議論をしていきたいと考えている。

Q. 指定管理料が増額されることはないのか
A. 5年間は年間1億4800万円(税抜き)を上限と考える



ここを聞きました

- 高梁市図書館について
- 地域おこし協力隊について
- 野良猫対策について
- 商家資料館について

■高梁市図書館について

森上 図書館サービスを充実させるに当たり、今後指定管理料が増額されるようなことがあるのか。

教育次長 指定管理の期間は5年間で、この間は年間1億4800万円(税抜き)を上限と考えている。

森上 Tポイントカードはシステム全体として商行為ではないのか。

教育次長 CCC内部の問題なのでコメントは控える。

森上 同様にCCCが運営する海老名市、多賀城市の図書館ではTポイントは付与されない。しかし、高梁市では議会の承認なしに導入されたが、考え直さないのか。

教育次長 Tポイントカードの導入は、顧問弁護士や、個人情報審議会でも有効な方法とされているので、

継続する。

■野良猫対策について

森上 野良猫をふやさないための不妊処置が必要だが、対策は考えているのか。

市民生活部長 全国では導入している自治体もあるが、当市としてはまだその域に達していないと考える。

■商家資料館のトイレについて

森上 池上邸（本町）のトイレを整備する予定はあるのか。

産業経済部長 平成30年度に洋式化とバリアフリー化を予定している。



ヘルプマーク
(本体は赤地に白抜き)

川上 外見ではわかりにくい障害を抱える方や、妊娠初期の女性の方が周囲の人から配慮や支援を受けやすくするために所持する「ヘルプマーク」「ヘルプカード」を導入していくべきではないか。
健康福祉部長 新年度から作成して希望者に配布していく。
市民への周知を進め、支援を受ける人にもわかりやすく説明していきたい。



障害者支援について

教育保育施策の充実について

川上 高梁保育園の老朽化にどのように対応していくのか。
また、高梁幼稚園と高梁南幼稚園の再編はどうするのか。
市長 新年度から、高梁市街地の認定こども園の設置に向けて、準備していきたい。

Q. 「ヘルプマーク」「ヘルプカード」を導入すべきではないか
A. 新年度から作成し導入していく



ここを聞きました

川上 博司

- 障害者支援について
- 教育保育施策の充実について
- オリジナル婚姻届の作成とウェルカムボードの設置について

Q. 防災ラジオ導入に当たって、市民負担はどうか
A. 1台目については登録料も含め無償貸与



ここを聞きました

平松 賢司

- 本市農産物の地産地消の推進について
- 防災ラジオ導入に当たって
- 水道料金について

平松 屋外放送塔設備は継続使用するとともに、全市に拡充すべきではないか。
総務部長 本市のような中山間地域は地理的条件もあるし、多額の費用もかかり廃止の方向で進めていく。

本市農業の地産地消について

平松 地産地消を一層推進していくためにJ Aや生産団体を含めた推進組織を立ち上げては。
産業経済部長 6次産業化が進んでおり、地産地消が進んでいると推測され推進組織は考えていない。

平松 地産地消の推進のため、組織の立ち上げと運営及び計画づくりに必要な予算を計上し、推進す

防災ラジオ導入に当たって

べきと思うがどうか。
産業経済部長 地産地消が相当進んでいると推察している。引き続き取り組んでいきたい。
平松 学校給食に、地元食材を使用する場合、それに対して一定の補助をしてはと考えるがどうか。
産業経済部長 備中牛や大納言小豆を使用した給食に一部補助をしている。

水道料金について

平松 お年寄りや学生たちで使用水道量が5トン以下の世帯は料金軽減すべきではないか。
産業経済部長 施設・固定費用がかかり現在のところ考えていない。

伊藤 市内からJRを利用して通学、通勤する高校生、大学生、社会人に対して、特急料金の段階的

■ 県南都市部への交通利便性の向上について

伊藤 高梁市PTA連合会要望書にあるが、通学路の街路灯整備が不十分で暗い場所が多くある。道路管理者や当該町内会というのではなく、市が子供を守るという強い発信はできないのか。
教育長 町内会や県など関係機関との連絡を密にし、一つ一つの事案ごとに対して調査、協議等を行う。学校管理者として、児童・生徒が安全に通学できるよう、市の責任として安全対策に努めていきたい。

Q. 通学路の通学児童、生徒のために市として街路灯整備はできないか
A. 一つ一つの事業に対してしっかり調査、協議をしながら市の責任を果たしてまいりたい



ここを聞きました

伊藤 泰樹

- 児童、生徒の安全確保
- 県南都市部への交通利便性の向上
- 地域の伝統文化継承のための活動の拡大
- 子育て家庭の負担軽減

な一部・全部の補助やJRへ通勤快速の要望は考えられないか。

市長 補助は考えていないが、通学、通勤の利便性を向上させることについて、対応も必要と考えている。

■ 地域の伝統文化の継承について

伊藤 子供たちに郷土愛、ふるさとを情操するために、地域の偉人文化、芸能を児童へ伝えることが必要と思うがどうか。
教育長 全市的にどういうものが残っていて、何を残すのか検討し、計画的な取り組みを考えたい。

Q. 県は病床数の削減を計画しているが
A. 医療の質が病院完結型から地域完結型に変わっていく中、やむを得ない



ここを聞きました

小林 重樹

- 高梁地区における地域包括ケアシステムと地域医療構想について
- 高梁市図書館について
- 平成29年度予算概要について

■ 「やまぼうし」の現状について

小林 晴れやかネットの進化版である「やまぼうし」の現状はどうか。
政策監 岡山県が推奨している晴れやかネット（医療ネットワーク）の高梁独自の拡張版を「やまぼうし」と呼び、63施設が加入している。今後未加入の機関に理解してもらい加入率を上げたい。

■ 県の保険医療計画について

小林 県は病床数の削減を計画しているが、市はどう受け止めているのか。
政策監 県の計画では、高梁・新見保険医療圏の必要病床は現在の846床だが、高齢人口の減少や急性期や回復期などの圏域外への流出の状況を考慮し、2025年

には、マイナス380床の466床になると推計している。現状高梁・新見圏域では、高度急性期の患者の8割、急性期では半数、回復期では4割が域外に出ている。

医療の質が病院完結型から地域完結型に変わっていくなか、必要病床数の減少はやむを得ないと考える。

小林 将来の高梁市の必要病床数はどう考えるのか。
政策監 総合戦略で人口減少を抑制する目標を立てて将来人口を推計し、将来の医療・介護の体制整備を図り、適正数を出して行きたい。

Topics あの議論はどうなった？

小中学校のエアコン



小中学校のエアコン設置については、平成21年6月議会では、普通教室への設置を求める質問が出されましたが、環境の問題や設備の問題から、現段階では困難との答弁がありました。

平成25年には、最高気温日本一を4回記録、8月9日には38・2度を記録する猛暑のなか、9月議会でもエアコンの設置を求める一般質問が行われていきます。

教育委員会は、平成26年度になって、初めて小学校3校と中学校2校にエアコンを設置し、平成27年度、平成28年度で、市内すべての小中学校の普通教室と特別教室（小学校104教室、中学校34教室）にエアコンを設置しました。

手話言語条例

平成26年9月定例会で「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書」が、岡山県聴覚障害者福祉協会と高梁市手話ボランティアの会から提出され、全会一致で採択し、高梁市議会として国に「手話言語法制定を求める意見書」を提出しました。

国は改正障害者基本法で手話が言語に含まれると規定するものの、法整備は行われないなか、平成25年に鳥取県が初めて手話言語条例を制定しました。

この動きは全国に広がり、高梁市議会は、この度の議会で条例制定を願う多くの市民が見守るなか全会一致で条例を可決しました。（3月末現在で97自治体が制定しています）

編集後記

今回から「Topics あの議論はどうなった？」を掲載することとしましたが、どのような感想をお持ちでしょうか。全国の自治体議会で提案、審議される議案の大半が執行部提案の議案です。本市も同様で、今回の3月議会では全56議案中55議案が執行部提案でした。また3月議会では予算が、9月議会では決算に関する議案が上程され、市政全般についての議論がなされるのですが、質、量とも膨大でなかなか理解が追いつかないのが現状で、審議し議決した議案についてもすべての案件について追跡することは困難です。このように議会で様々な議論がなされている中で、通告質問は各議員が特に関心を寄せた分野であり、また、市政の重要課題は何人も議員によって、切り口を変えて繰り返し議論されます。「Topics あの議論はどうなった？」は特定の議員の活動をPRするものではなく、議会活動が市民福祉の向上に、具体的にどう結びついているのかを理解していただくために掲載することとしました。今後ともこの記事に限らず、広報活動全般についてもご意見をいただけますようお願いいたします。（石田芳生）

編集

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報聴特別委員会
伊藤泰樹	森和之	森上昌生	石井聡美	石部誠	石田芳生	宮田好夫	